



「地域のバリアフリーマップ」取組事例①

ちよだバリアフリーマップ（千代田区）

取組内容

- ・観光客や地域住民が自由に、かつ、安心してまちを歩くための手助けとなることを目的に作成
- ・区内を5つの地域（エリア）に分けた「ちよだバリアフリーマップ」を紙媒体と電子版（ホームページ掲載）で作成及び更新
- ・作成は民間団体が先行、区は配布や広報を実施

取組のポイント

- ・車いすで利用しやすい施設や店舗の情報だけでなく、歩道と車道の高低差や坂道の斜度、道路が狭くなっている箇所等を詳細に明示している
- ・主に区役所や区立施設で配布しているが、情報量の多さや内容の充実度が評判を呼び、民間の宿泊施設、商業施設や観光案内所等からも配布要望がある
- ・マップを作成している民間団体及び区のホームページに電子版を掲載し、PRするとともに、配布場所に向くことが困難な方へ情報を提供
- ・作成及び更新の際は、車いす利用者や大学生に加え、子育て中の区民、区在勤の社会人等、様々な立場のボランティアスタッフがまち歩き調査をして情報収集を行っており、「当事者の視点」を大切にしている
- ・マップの更新はおおむね半年に一度、エリアごとに行っているが、民間団体とボランティアスタッフが定期的に協議の上、最新情報の把握・掲載に努めている

今後の方向性等

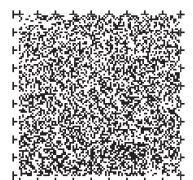
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、平成28年度までに区内すべてのエリアのマップを作成することに加え、外国語版マップの作成に向けた検討を開始している



まち歩き調査で道路の幅を確認



協議の様子





「地域のバリアフリーマップ」取組事例②

みんなのおでかけマップ（町田市）

取組内容

- ・だれでもトイレ（町田市では「みんなのトイレ」と呼称）が整備されている施設を中心に市内全域約700施設のバリアフリー設備の情報を掲載した「みんなのおでかけマップ」（冊子版）を作成
- ・市内を5つの地域に分け、それぞれの地域について、地図並びに各施設のバリアフリー情報及び連絡先を掲載
- ・電子版「バリアフリーマップ」（ホームページに掲載）も作成し、冊子版に電子版の紹介やリンク情報を掲載
- ・市役所や市立施設において無料配布しているほか、市のホームページからもダウンロードが可能となっており、外出前にチェックすることが可能

取組のポイント

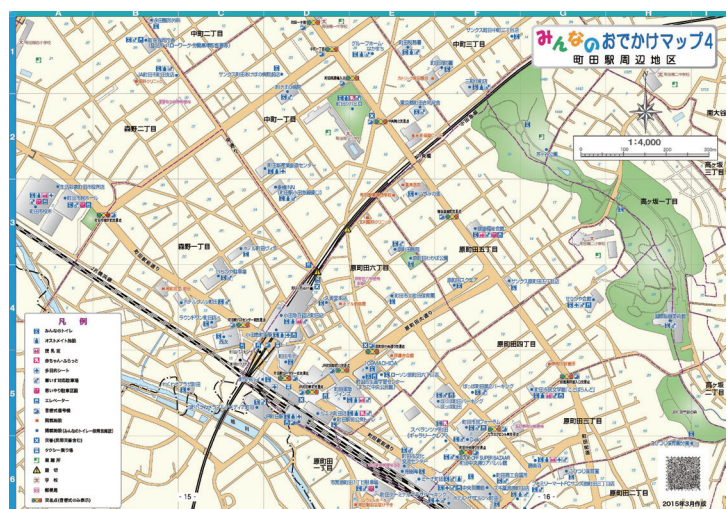
- ・冊子版、電子版ともに情報の集約は、市内のNPO法人が実施
- ・地図上に最新情報を落とし込むことで、利便性の向上を図っている
- ・冊子版は見やすさ等を考慮して、電子版に掲載している情報の中から、公共施設の情報や各地域のトイレ情報などを抽出して、掲載している

今後の方向性等

- ・マップ内の地図について、紙幅の都合で一部地域のみ掲載となっているが、地図が掲載されていない地域の利用者の方から、「市内全域の地図を掲載してほしい」との要望があったことを受け、平成28年版から市内全域の地図を掲載するとともに、地図上にすべての施設を明示



バリアフリーマップ（表紙）



地図上に情報を落とし込んでいる

